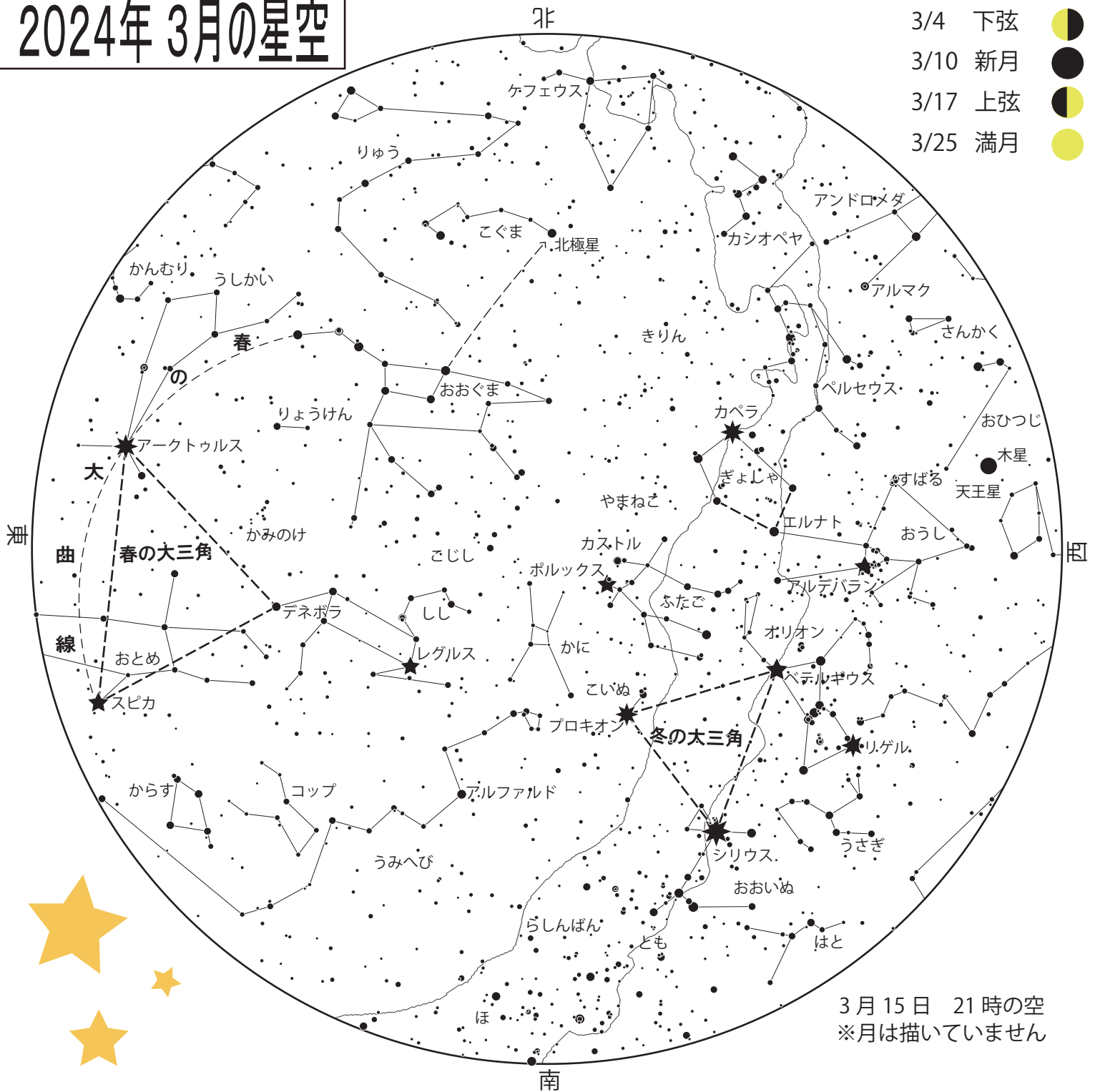


# 姫路で見る 2024年3月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 3/4 下弦 
- 3/10 新月 
- 3/17 上弦 
- 3/25 満月 



3月15日 21時の空  
※月は描いていません

南西の空には冬の星々が見えています。オリオン座のベテルギウス、おおいて座のシリウス、こいぬ座のプロキオンをつないでできる**冬の大三角**がよい目印です。オリオン座にはもうひとつ、足元のリゲルもよく目立ちます。さらに西側にはおうし座のアルデバラン、その北側にはぎよしゃ座のカペラが輝きます。南西の空見上げたところにはふたご座のカストルとポルックスが仲良く並んでいます。

東の空には春を代表する星座のひとつ、しし座が見えています。胸元に輝く一等星レグルスが目印です。北東の空にはひしゃくのような形をした星の並び**北斗七星**があります。ひしゃくの水をすくう方からは**北極星**を見つけられます。一方、ひしゃくの柄をずっと伸ばしていくと、うしかい座の**アークトゥルス**、おとめ座の**スピカ**へとつながる**春の大曲線**を引くことができます。アークトゥルス、スピカと、しし座のしっぽ**デネボラ**を結ぶと**春の大三角**のできあがりです。

西の空、明るくよく目立つ**木星**はいよいよ見納めの時期となります。